

湖北

鉄道を活かした湖北地域振興協議会はNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場する「後鳥羽上皇」が行幸したと伝わる西黒田、六荘地区などを巡るサイクリングマップを作製した。

JR田村駅を起点とした約16kmのコース。後鳥羽上皇がひそかに訪ねて鎌倉幕府を倒す祈禱を命じたとされる名超寺（長浜市名越町）や上皇が植えたと伝わる王杉様（同市常喜町）などゆかりの地を中

心に12カ所を巡る。ほかに蓮が咲き誇る約3畝の棚田（同市布施町）、紅葉が美しい神田溜（同市加田町）などもコースに入っている。

同協議会では「ゆかりの地」の情報を全国に発信し、鉄道利用促進とレンタサイクルによる周遊観光を図っていく。マップは同駅レンタサイクル受付、同市内の観光案内所などに置いている。長浜観光協会のホームページからデータを入手す



後鳥羽上皇 ゆかりの地 サイクリングマップ

長浜

後鳥羽上皇の足跡を自転車
JR田村駅起点のマップ作製

【長浜通信部・長谷川隆広】

「消えた村」の記憶をつなぐ
半世紀にわたる記録写真集発刊

長浜

丹生ダム建設計画（後に中止決定）などで集団離村した旧余呉町7集落の在りし日々を収めた写真集「地図から消えた村」が発刊された。元長浜市助役の吉田一郎さん（80）同市国友町Ⅱが1968年から半世紀にわたって撮り続けてきた写真の中から196点を厳選した。

1981年の豪雪の記録、つつましい暮らしぶり、離村の様子など、何度も集落に通って撮影。村人の表情を生きたままとらえている。離村から20数年後の村人の移住先での現状、昨年開催した写真展で再開した村人の様子なども収録した。発刊された写真集の表紙



【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東

彦根

産業創出へシェアオフィス
眺望抜群の市役所別館に

カウンター席からは彦根城も望める

中央町）に5月6日、産学官連携の拠点となるシェアオフィスがオープンした。名称は「インスピレイク」。inspiration（ひらめき）とLake（湖）を組み合わせた造語だ。地方創生テレワーク交付金を活用し、総事業費5708万円で完成した。

運営は彦根市、彦根商工会議所、滋賀大などで組織する「近江テック・アカデミー株式会社」（0749・22・4551）。県内外からのIT

企業誘致、学生ベンチャーによる産業創出などを目指す。延べ床面積は316平方メートル。中央にオープンスペースがあり、西側に国宝・彦根城や琵琶湖を望めるカウンター席が並び、北側奥に12人収容のセミナールームを配置。1〜6人用の7個室もあり、半透明ガラスで仕切られている。午前9時〜午後8時（日曜祝日休み）。1日利用料は2000円（学生500円）から。

【彦根通信部・伊藤信司】

近江鉄道の風景を切り取って
カレンダー向けフォトコンテスト

彦根



2022年カレンダーに採用された作品

ける。も写真した心を中（橋）信号、踏切、鉄道作品を募集する。車両や施設（駅舎、ホーム、踏切、

近江鉄道（本社・彦根市）は来年のカレンダー作成に向け「2023フォトコンテスト」を実施している。テーマは「近江鉄道のある風景」。沿線5市5町の自然、街並み、駅舎などを取り込んで写した

プロ写真家の吉永陽一さんが審査し、大賞、自然賞、街並賞、車両賞、鉄道施設賞、ジュニア賞（15歳以下）、近江鉄道賞、撮影地ごとの市町賞——など24件を選ぶ。応募は近江鉄道ホームページの専用ページから。15歳以下の応募は保護者の同意が必要。7月31日締め切り。問い合わせは鉄道営業課（0749・22・3303）。

【彦根通信部・伊藤信司】